

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 令和2年度課題別研修 「仏語圏アフリカ 理科分野における教授法改善指導者養成」

(英文) Leadership Training on Improvement of Teaching Method for Science Education for Francophone Countries in Africa

(2) 履行期間 令和2年10月12日～令和3年3月19日

(受入期間 令和3年1月25日～令和3年2月5日)

(3) 研修員数 14人

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 小澤 大成

2. 案件目標（アウトカム）と単元目標（アウトプット）の達成度

(1) 案件目標（アウトカム）

案件目標：効果的な教員研修の実施に向けて、研修員の理科分野における教員研修・授業実践能力に関する基礎知識が向上する。

指標：研修員の質疑応答内容および研修終了時に表明した研修活用案に基づき評価する。

(2) 単元目標（アウトプット）

単元目標①：各国、所属組織、個人の各段階において教員研修に係る課題を整理できる。

指標：研修員が事前に作成したインセプションレポートの「課題」とその「問題点」に関する記述が4段階評価がB（やや優れている）以上。

単元目標②：理科の授業実践の意義・ポイントを説明できる。

指標：研修員の質疑応答や研修活用案に「よい理科授業」に必要な観点が含まれているか、4段階評価でB（やや優れている）以上。

単元目標③：理科分野の教授法改善にかかる研修手法を説明できる。

指標：研修員の質疑応答や研修活用案に研修手法が取り上げられているかを、4段階評価でB（やや優れている）以上。